

中央アジア・キルギスにおけるロシア人入植村の今と昔

ソ連崩壊後、旧コルホーズ村の畜産農場と、伝統的な遊牧民社会とに、キルギスの人びとが、いかにして、キルギス風に折り合いをつけ、工夫を凝らしているか。



畜産飼養の変化を中心に、衣・食・住文化の動静も紹介します。

—ほっかいどう未来チャレンジ基金(みらチャレ)に支援された活動報告—

講 師：星野愛花里（北大農学院協同組合研究室／キルギス留学経験者）

司 会：坂下 明彦（北大名誉教授・北海道地域農業研究所長）

解 説：中村 正士（北大農学研究院研究員・アジア地域連携研究所専務理事）



日 時： 10 月 31 日午後 1 時～3 時

会 場： 北海道大学農学部 1 階 S 1 1 教室（先着 20 名様まで。30 日迄に

メールアドレス mysasaki@jcom.home.ne.jp（佐々木）にご連絡を。）

また、ズーム配信（希望者は 28 日迄に同アドレスにご連絡を。）

会 費： 無 料

*公共交通機関のご利用をお願いします。



咲き乱れるマメ科牧草「エスパルセット」の花。この花が、熊でなくてもよだれのでる、キルギス産「白いはちみつ」になる。

問合先／申込先：mysasaki@jcom.home.ne.jp ロシア極東研事務局 佐々木洋 ☎011-561-0258